

平成 30 年 4 月実施—議会報告会・意見交換会まとめ

場 所：岸 地 区（平成 30 年 4 月 18 日）

総務環境常任委員会関係	参加者意見	当日の答弁	調査結果
<p>福祉タクシー</p> <p>循環バス</p> <p>公共交通の再構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉タクシーとは何か。 ・循環バスの乗り場まで行けず、通院等に困っている。社協のおでかけ号の案内はしているが、利用までには至っていない。福祉タクシー利用地域の拡大をしてほしい。 ・介護認定者など条件付きで岸地区にも拡大してほしい。 ・循環バスの年間経費及び所有は。 ・循環バスの効果的な運用をどう考えているか。課題はあるのか。 ・循環バスの利用者が少ない。費用対効果が心配だ。 ・近くに大型商業施設ができて、高齢者は循環バスの路線に行くことが出来ず、買い物に行くことに 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の公共交通バス、スクールバス、福祉バス、共和のコミュニティーバスがあり、乗る人、時間帯が違うので、お互いを補う形でもっと効果的な運用ができるか検討している。 ・高齢化で免許証の返納が必要となることを見越して運用している。スクールバスや福祉タクシーなどの一体化などの再構築を検討している。 ・岸地区で同様の方式で運行することは可能だと思うので、検討課題にあげる。 	

<p>道 路</p>	<p>も苦勞している。岸集会所で老人クラブがサロン活動をしているが、将来的に運転免許証の返納を考えると、高齢者の送迎に共和地区のコミュニティーバスと同様のバスの運行ができないのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秦野峠林道は良い道路だが、法面が崩壊するなどメンテナンスにお金がかかる。県の反応はどうか。 ・ 藤野線が開通すれば中川温泉のにぎわいに繋がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道志村の議員と交渉を始めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会では、松田議会と「秦野峠林道活用促進議員連盟」を立ち上げ、また、町でも松田町と「県営秦野峠林道に関する広域連携協議会」を立ち上げ、ともに災害時等に活用できる協議をし、県に要望活動をしている。
<p>ジビエ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松田町は個人で保健所の許可を取り、自分の民宿で出している。販路もある。 ・ ジビエの需要は結構あるらしいが、販売ルートを確認する必要がある。 ・ 他の県では真空パックでお土産として売っているの、販売ルートの確立が必要である。 ・ 千人鍋の肉はどこから来ているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県は規制を強め、桜祭りや産業まつりなどで販売できたジビエは販売できなくなった。 ・ ジビエはおいしく、刺し止めと調理の仕方でおいしく食べられる。 <p>・ 千人鍋の肉は輸入の時もあったが、今は国内産である。</p>	<p>県では、安全対策に問題があるとして、現在は硬直状態である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松田町の個人の事例では、他の事業者での販売（流通）は、許可されてないと聞いている。
<p>IC カード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ IC カードは JR 東海だけでなく、JR 東日本、小田急線でも使えるようにならないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員連盟をつくり JR と話し合いをしている。31年に御殿場線で下曾我駅まで IC カードが使えるようになる。今後は、国府津駅までの延長を検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通系 IC カードは、発行会社が異なっても他の鉄道でも使える。ただ、鉄道会社単位では使えるが、JR 東海の駅で入札し、JR 東日本で出札するような「またぎ利用」は、できない。

<p>移住施策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在73歳。老後は田舎暮らしがしたいと思い、12年前に茅ヶ崎市から移住してきた。 ・ 三保から首都圏に通っている人がいる。山、滝、自然を活用した歴史ある町として山北の良さを知って来てくれる人がいる。それで良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共和地区には林業や酪農を希望する若い人が移住してきている。もっと受け入れる体制づくりをしたい。 ・ 町の中には利便性の良い所とそうでない所があるので、平準化を図る施策が必要だ。 	
<p>新規農業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住して3年目になる。土地を購入したが、農業者としての資格を役場に尋ねたところ、3反の土地を3年間耕作した人でないと資格がないと言われた。農業をしたい人を支援し、育てる姿勢がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業委員制度を持ち帰って確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規農業は農業関連法で数々の制約がある。個別事例となるため、町の農林課、もしくは神奈川県農業アカデミーへ相談が良い。
<p>働き場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山北を存続させるためには、夕張市のようなコンパクトシティーを創ったらどうか。また、通勤がネックなので、ワンボックスカーの循環バスを走らせたらどうか。今の循環バスは大きすぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンパクトシティーも検討項目の1つとして考える。 ・ 隣の小山町では、大規模工業団地の開発をしているが、働き手が不足するはずだ。静岡県に眼を向けることもこれからは必要だ。 ・ 交通については調査研究中である。 	
<p>買い物難民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーが配達してくれると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動販売車についても研究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅近くで、食料品などの購入が難しい買い物弱者支援策を調査・研究している。
<p>鳥獣被害と人口問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会で取り組んでいる鳥獣被害対策と人口減少問題の関係が不明 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口増に繋がるとは考えていない。鳥獣被害は耕作意欲をそがれる大きな要 	

<p>観光協会</p>	<p>である。この対策で人口増につながるとは思えない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ といった形態で運営しているのか。観光振興や人口増を見越した場合、民間運営にした方が良いのではないか。 	<p>因である。鳥獣対策を講じることで、そうした町民の人口流出の波を緩やかにできるのではないかと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今は任意団体で運営している。今後、公益法人化もひとつの案であるが、民間になると町の補助がなかったり、従業員の継続雇用など、別の問題も生じると考える。 	
-------------	--	---	--

福祉教育常任委員会関係	参加者意見	当日の答弁	調査結果
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・川小の生徒は集団登校でなく、近所に上級生がいる場合は一緒に登校している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・システムが確立するには時間がかかるが、実現に向けて動いている。 ・現在、出生時は保険健康課、保育園が福祉課、幼稚園は学校教育課の3つに分かれている。利用者は小さなお子さんを抱えた方が多いことを考えると1つの課で手続きが完了することが理想である。 ・子どもの遊び場は全町的な悩みだと認識している。保護者からそういった話を良く伺う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会報告会后すぐに塗り直され解決した。 ・更なる周知を図るよう町へ伝える。 ・町では、1Fスペースに御用聞きコーナーを設置し、ワンストップサービスをしている。高齢の方や、小さなお子さん連れの方は、利用していただきたい。
子どもの安全	<ul style="list-style-type: none"> ・金子建設資材置き場付近及び浅間山農道入口の横断歩道が消えている。 		
在宅介護	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率は4人に1人が高齢者で在宅等の看取りなどができるのか。 		
就学援助	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護世帯への就学援助制度があるが、ひとり親家庭で子供が複数いる家庭は大変なので、援助制度を町職員が説明し、利用ができるようにしたらどうか。 		
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援相談窓口の一本化とはどのようなことか。どのような課題があると考えているのか。 		
子どもの遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ・昔は子どもが沢山いて、遊ぶ場所も方法も色々あった。今の児童はそれが難しいのが悩みである。 		

<p>社会福祉協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・孫をぐみの木公園等へ連れて行っても遊んでいる子どもがいない事が多い。そこへ行けば必ず誰かが遊んでいるといった場所が欲しい。 ・社協は町の組織とばらばらに活動しているように見える。社協として何か独自に行っている活動はあるのか。 ・県下で老人クラブの友愛チームがないのは、山北町と清川村だけである。是非活動して欲しい。民生委員の活動を補完するのに役立つはずだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そこへ行けば必ず子どもが居て、中心になって遊びをリードする人物がいつも居る遊び場が必要である。 ・先進的に独自の事業を行い、自立できるよう活動しているところもある。我々議会も2名議員を出しているので、その点は考えていきたい。 	
<p>在宅医療</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅での看取りは、今後を考えると老々介護等で心配。現在の進捗状況は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地では、介護や在宅医療の必要な高齢者に対し、タブレットなどのネットワークシステムを利用して、医療機関、介護施設、社協などとの顔の見える関係が構築されている。山北町も上郡1市5町の広域で、医療と介護の連携が始まった。 	
<p>国民健康保険</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から運営が県に移管されるとの事だが、これまでと何か変わるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の運営が県に移管され、町や町民の負担はこれまでとかわらない。引き続き国保運営も厳しい状況にある。 	
<p>先進地視察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県を視察先に決めた理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療介護連携システム平成22年度から広域連携で既に始められてい 	

<p>高齢者の運転免許証の返納</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これからは、高齢者の増加で、運転免許証の返納者が増える。買い物や通院には、地域のボランティアによる、自家用車での送迎が考えられるが、事故等が発生した場合の補償を町のシステムとして考えるべきではないか。 	<p>る自治体を選定した。広域連携は山北町も同様であるので、先進地事例を学ぶことで目標を掴むことができた。また、学校教育についても長野県は教育県と言われている。小規模校や山間地ならではの教育が充実しており、山北町にも置き換えられる学校教育を学ぶ事ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の運転免許証の返納は、今後義務化することも考えられる。それに代わる高齢者交通支援について、行政やボランティアの関わりも含め、委員会で調査研究を進める。 	
<p>健康づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や若者を巻き込んだ健康づくり体操やウォーキングなどの取り組みを行政中心にもっと推進して欲しい。 ・森林セラピー参加費用は参加したいが高い。 ・健康スポーツ大会に自治会参加の復活を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のリーダーが仕掛け人となる地域活動が継続のカギであると考え。今後、医療費削減対策の一つとして、健康づくりは重要な位置づけであるので、積極的に推進を図っていきたい。 	

あり方検討委員会関係	参加者意見	当日の答弁	調査結果
議員定数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民アンケートを取るべき。 ・ 人口減少及び地域性を考慮すべき。 ・ チェック機関としての機能を考えるとある程度の人数は必要。 ・ 県議の区割りも人口で決められた。少数精鋭で頑張ってもらいたい。 ・ 仕事を持ちながら議員をするには、夜会議をするなど工夫を。 ・ 政務活動費はあるのか。 ・ それなりの報酬がないと若い人は出ない。 ・ 議会はいろいろな方から意見を聞く必要がある。 ・ 病気欠席の長期とは。 ・ 10,400人の人口に対して2～3人多いのではないか。 ・ 余り少ないと活動が弱体化しないか心配だ。 ・ 活動を活潑にやるなら現在の議員数で良い。 ・ 政務活動費は必要ない。無いなら報酬の引き上げもやむを得ない。 ・ 現在の財政状況を考えると定数減を望む。 ・ 議員収入も生活費と考えると現在の報酬では少ない。定数を削減し、報酬を上げる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山北町に政務活動費はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ あり方検討委員会で検討している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・少数精鋭を望む。 ・岸地区に4人は多いが町全体でみた場合何人が適正化かはわからない。 ・議員の仕事がイベントや行事に参加しているだけに見える ・欧米の議会議員制度や無償ボランティア制度などの仕組みを取り入れては。 ・議会を傍聴しても議員の質問が足りないように思う。議会だよりを見ても同様である。そういった状況では今の14人は多いと思う。議員と直接やり取りして意見交換したい。 ・議員個々が住民にもっと活動を示してほしい。 ・町は広いので単に人口比では判断できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の議会制度は自治法の下で進めているため、制度自体を変更することについては、議論できない。現在、総務省でなり手の問題も含めて複数のアイデアがある。今後、国から議会制度に対する制度や仕組みの見直しがあるかもしれない。 ・議会だよりは、多くの方に読んでいただくため、編集段階で質問内容を凝縮している。今年度、ホームページをリニューアルするので、SNSの活用を含め、皆さんに多くの情報を伝えられるよう検討中である。 	
--	---	---	--

その他	参加者意見	当日の答弁	調査結果
<p>消防団の報酬</p> <p>車座集会</p> <p>ごみ収集</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団のなり手不足で、定員割れしている。山北は出動した時だけ支給（火災の時1人1,000円か1,500円）。山北町の団員への報酬は少ない。 松田町では、年末、年始の警戒時には1団体3万円ずつ支給し、年間活動にも1日1,000円、年末には1,500円の手当が出る。 山北は災害等の出動時だけ手当が出る。町には山岳救助や水防などもあるので、手当の面でも優遇すべき。 ・こうした方法は皆が言いたいことを言えて、たいへん良い。 ・ごみの分別が徹底されてないようだが、回収されたごみの行方はどうなっているのか。 ・粗大ごみの持ち込み搬入を山北町でもやってもらえないか。現在、南足柄や御殿場など民間へ搬入している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、回収されたごみの一次処分場は皆瀬川にあり、最終処分場は長野県にある。 ・今後、西部清掃組合を通じて、持ち込み搬入ができるように進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山北町の消防団では、年報酬の他にも、種々の活動に対し、1回1,000円の手当が支給されている。 ・手当は、出動だけではなく、年間を通しての活動にも支給されている。